

スノースポーツキャンプ

- 開催日 2020年1月5日～1月7日
- 会場 国立妙高青少年自然の家
- ディレクター名 小島 菜奈子(ぴけ)

■キャンプのねらい

- 自然の中で遊ぶ中で、創造力、創意工夫する力を養う。
- 3日間の活動を通して「できた！」の自信を持ち帰る。

■同行スタッフ（キャンプネーム）

おぐしお、かっぱ、かりーな、くり、こばしり、ちゃい
てら、トーさん、ぼると、まよ、みんと、ラミ

■活動内容

<1日目>
集合、移動
国立妙高青少年自然の家到着
雪遊び①

<2日目>
雪遊び② ソリあそび/雪合戦
雪遊び③ エアボード/雪像作り
夜の探検

<3日目>
雪遊び④ 選択別プログラム
移動、解散



3日間を過ごす施設に到着！お待ちかねの雪遊びです。



サラサラふわふわの雪に大興奮でした。



食事の時間やお風呂の時間もお友だちと一緒に楽しめます。



2日目。今日はさまざまなスノースポーツに挑戦します。



本格的なシェルターを使った雪合戦を楽しみました。



いろいろな道具もみんなで使い方を覚えて遊びます。



『エアボード』にも挑戦。爽快感に病みつきでした。



午後のメインは雪像作り。班のお友だちと力を合わせて作ります。



完成！お気に入りの作品ができあがりました。



夜はキャンドルを灯した雪像を観に出かけました。



夜の雪の世界にドキドキわくわく。目を輝かせて見つめていました。



3日目。今日は【選択別プログラム】の日です。



4つの遊びの中から自分のやりたいものを選んで挑戦します。



雪合戦チームは、夢中で雪玉作り。スタッフに投げて楽しみました。



雪山たんけんチーム。冬の森には、発見がいっぱいありました。



雪の作品作りチーム。みんなでお山を作って遊びました。



ソリ&エアボードチーム。回数を重ねるごとにどんどん上達しました。



今度は、どんなチャレンジができるかな。みんなまた会おうね！

■キャンプのエピソード

「僕はそれやらない！」

2日目の午後。『エアボード』という雪用のボディボードにみんなで挑戦していた時のことです。Aくんは、そばで見ている恐怖心があったのか「僕はやらない」と言っていました。スタッフが「やってみたら楽しいかもしれないから1回やってみたら？」と声をかけると「じゃあ1回だけ」と勇気を出して挑戦しました。コースを滑って戻ってきたAくんの感想は「すごく楽しかった！」でした。初めの消極的な態度から一変、3日目の【選択別プログラム】でもエアボードを選ぶほど気に入った様子でした。

初めてのことに挑戦する時は、誰もが緊張しますが、ドキドキする気持ちを乗り越えて楽しい経験をこれからもたくさんしてほしいです。

「準備テキパキがんばろう！」

今回のキャンプでは、3つのお約束を子どもたちとしていました。

『自分のことは自分でやろう』

『何でもチャレンジしてみよう』

『準備テキパキがんばろう』

3日間、スノーウェアの準備やお部屋の片付けを自分たちの力でがんばり、いろいろなスノースポーツに挑戦した子どもたちは、どんどんと準備や身支度にかかる時間が短くなっていきました。

最終日は、集合時間として伝えていた時間の10分前に全員集合。スノースポーツへのわくわくした気持ちを、準備や身支度がんばるパワーに変えて過ごすことができたみんなは、とても素敵でした。